



報道関係各位

2021年4月2日
株式会社Ec.

株式会社Ec. , 山形大学・新庄市と
「デジタルトランスフォーメーション推進に関する連携協定」を締結
～産学官連携により未来に向けて新しい山形・新庄モデルを構築～

株式会社Ec.（山形県新庄市、代表取締役:菅 聡 以下:Ec.）は、2021年3月29日に山形県新庄市（以下:新庄市）における更なるDX推進を目的とした「新庄市・国立大学法人山形大学・株式会社Ec.による『デジタルトランスフォーメーション推進に関する連携協定』を締結いたしました。協定の概要は以下の通りです。協定に際して、協定式を行いましたことを合わせてお知らせいたします。

新庄市・国立大学法人山形大学・株式会社Ec.による
「デジタルトランスフォーメーション推進に関する連携協定」概要

1 協定の目的

新庄市、国立大学法人山形大学及び株式会社Ec.は、緊密な相互連携のもと、ICT技術やデータサイエンスの活用を通してデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」という。）を推進し、新庄市が抱える行政課題の解決や行政サービスの向上を図ることを目的として協定を締結する。

2 連携項目

上記の目的を達成するため、次の項目について相互に連携協力する。

- (1) 新庄市のDX推進のための計画策定に関すること
- (2) 行政サービスにおけるDX導入に関すること
- (3) 山形大学と連携した人材育成、学習・研究体制に関すること
- (4) 株式会社Ec.が実施する事業に関すること

3 協定締結期間

令和3年3月29日（締結日）から令和6年3月31日までとする。

4 当面の取組予定

- 株式会社Ec.が提供するDXサービスと行政サービスとの連携
- 山形大学が有するデータサイエンスの知見を活かしたEBPM（エビデンスに基づく政策立案）の実施
- 新庄最上エリアを対象とした山形大学の学習・研究活動の実施



「まなぐる」コンセプトムービー

式の後半では、山尾 順紀氏（新庄市長）、飯塚博氏（山形大学 理事・副学長）、菅 聡氏（Ec. 代表取締役）による署名締結の式が行われ、各代表者から、締結に際してのご挨拶を頂きました。



飯塚博氏（山形大学 理事・副学長）

飯塚氏からは、『コロナ渦の社会の加速度的な変化の中の一つとしてDX化が進み、大学でもオンラインでの講義・会議・実験のリモート化が進み、教育・研究・社会連携の活動の仕方を大きく変えました。得られた各種のデジタルデータの分析の利活用により、新たな経営戦略・ビジネスのチャンスに結び付けることも可能であり、協定を結んだ三者が連携し新しい地域サービスが生まれる事や本提携により新庄・最上地域と山形大学の連携の強化に繋がる事に期待したい』とお話しを頂きました。



菅 聡（Ec. 代表取締役）

弊社代表取締役の菅からは、『コロナ化において様々な生活様式の変化がもたらされ、今まで当たり前だったことができなくなったのではないのでしょうか。自分も仕事の内容が一変、



関東にいる娘と会う事も出来ない、それを楽しみにしていた祖母祖父も顔を見る事が出来ないなど様々なことがありました。そこでどこの家庭にもある、テレビを活用したサービスとして、様々な生活様式をまなぐるで変えていき、「山形・新庄モデル」を全国に発信していきたい。』と挨拶をさせていただきました。



山尾 順紀氏（新庄市長）

山尾氏からは、『コロナ渦だけではなく、少子高齢化した未来の生活様式について課題を感じ、60歳以上のテレビ世代の方々に行政としてどの様に情報を提供しようかと考えていた時に今回の提案があり、まさに産学官連携した取り組みが出来る事を嬉しく思います。テレビを見ながら必要な情報得られる、この事業を新庄を中心にスタートし、県内、東北、全国に広げ、優しい行政とそれを支える産学官があるというこのモデルを広めていきたい』とお言葉を頂きました。

ECは、本協定をきっかけに最上地域はもとより、山形、東北の地域発展に積極的に寄与し、事業を通じて自治体ならびに地元の企業様と連携をしながら地域の発展に寄与するべく、つとめてまいります。

以上